

第6回 養父市国家戦略特別区域会議資料

養父市 中山間農業改革特区

平成28年10月13日

養父市長	広瀬	栄
株式会社Amn a k 代表取締役	藤田	彰
株式会社やぶの花 代表取締役	柴山	栄一
ナカバヤシ株式会社 代表取締役	辻村	肇

法人農地取得事業の活用と養父市創生

法人農地取得事業

- ◇ 農産物の生産コストが高い中山間地域において6次産業化を進めるためには、**経営ノウハウを有する企業の農業参入が不可欠**
- ◇ 本事業により、企業が**長期的・安定的な農業経営**をできる環境を整え、**地域と共に将来にわたり営農**を可能に

3社が農地を取得

◆(株)Amn a k



◆兵庫ナカバヤシ(株)



◆(株)やぶの花



法人農地取得事業の活用と養父市創生

養父市の課題解決へ

耕作放棄地・休耕田の再生

今回取得予定農地の大半は従前が耕作放棄地や休耕田
☞ お荷物になろうとしている農地が生産性ある農地へ

農地の流動化の促進

農業できない農地所有者（売り手）と農業の担い手（買い手）のマッチング
☞ 多様な担い手の確保により、農地・農業・農村を守る

地方創生への期待

- ◇ 企業が農業経営を行ううえで、地域と一体となって営農することが安定した経営基盤の構築につながる
- ◇ 本事業の活用により、これまで以上に地域と一体で、企業ノウハウを活かした中山間農業へ発展することに期待

株式会社Amnak

法人の概要

- 【所在地】 兵庫県養父市能座62番地
- 【設立年月日】 平成27年10月15日
- 【資本金】 1,000万円
- 【代表者】 代表取締役 藤田 彰
- 【その他】 山陽Amnak(株)増資予定

事業のねらい

耕作放棄地等を再生し、酒米を生産。
生産から収穫、精米までを一元管理し、6次産業化により、自社製の酒米で日本酒を作り、輸出産業化に取り組む。

事業概要等

- 酒米の生産
- 地域の酒蔵と連携し日本酒を生産
(日本酒のブランド化)
- 自社醸造した日本酒の輸出を目指す



能座地区(8.4ha)の休耕田を再生

中山間地域等直接支払交付金を活用し保全管理していた農地すべてを再生



当面の事業計画

- ◆生産から収穫、精米までを一元管理するため、**ライスセンターを整備**。
 - ☞ 効率的で高品質な酒米生産
 - ☞ 地域農家の労力軽減に寄与
- ◆地域に根付いた長期的・安定的な経営と、農地所有者の意向に応じるため**農地を取得**
 - ☞ 企業として本格的な資本投下が可能
 - ☞ 地域の安心感・信頼感を醸成
- ◆農地の取得は、**当面、1haを目標として、更なる拡大を検討**



平成28年醸造予定の自社日本酒

株式会社やぶの花

法人の概要

【所在地】 兵庫県養父市大屋町和田206番地
【設立年月日】 平成27年2月19日
【資本金】 100万円
【代表者】 代表取締役 柴山 栄一
【その他】 (株)姫路生花卸売市場増資予定

事業のねらい

花卉の生産から販売まで一貫して行う仕組みを構築。耕作放棄地を再生しつつ、冷涼な気候の中、中山間地での本格的な花卉栽培に取り組み、りんどうの産地化を目指す。

事業概要(農業分野)等

- りんどう・小菊等の生産
- 地域内連携による「りんどう」の産地化(JA・企業・農家との連携)



当面の事業計画

- ◆花卉の通年栽培のため園芸施設を整備。
☞ 経営の安定と雇用の創造
- ◆企業・農家への栽培指導の強化と集出荷施設を整備。☞ 産地化の推進
- ◆地域に根付いた長期的・安定的な経営と、農地所有者の意向に応じるため農地を取得
☞ 企業として本格的な資本投下が可能
☞ 地域の安心感・信頼感の醸成
- ◆農地の取得について、更なる拡大を検討



兵庫ナカバヤシ株式会社

法人の概要

【所在地】兵庫県養父市大屋町笠谷111番地
【代表者】代表取締役 中之庄幸三
【資本金】1,000万円
【設立年月日】昭和57年2月1日(昭和48年創業)
【その他】ナカバヤシ株式会社100%出資
養父市で事業開始し43年。地域の雇用を守るため、製本業との業務の平準化を目指し、農業分野へ進出

事業概要(農業分野)等

- にんにくの生産と6次産業化
- 地域内連携によるにんにくの産地化
(企業・農家との連携)



事業のねらい

工場の労働力を活かし、耕作放棄地を再生しつつ、
土壌改良等を行い、にんにくを生産。
現在、養父市をあげて取り組んでいる、にんにくの
ブランド化、産地化に、他企業とも連携して、取り
組む。

当面の事業計画

- ◆にんにく生産の規模拡大(0.7ha⇒4ha)
農地を土壌改良し、にんにく栽培技術実証
の圃場に
 - ☞ にんにくのブランド化と産地化
- ◆収穫したにんにくの保存・乾燥施設を整備。
将来的には加工施設を整備。
 - ☞ 6次産業化による雇用を創造
- ◆地域に根付いた長期的・安定的な経営と、
農地所有者の意向に応じるため農地を取得
 - ☞ 企業として本格的な資本投下が可能
 - ☞ 地域の安心感・信頼感の醸成
- ◆農地の取得について、更なる拡大を検討